

大学創立記念日(9月16日)特集

寄稿 大西 功

空前の人気流行歌手

上原 敏 波乱の人生を追う

専修大学出身の歌手・上原敏は、昭和10年代、「妻恋道中」「裏町人生」「流転」「上海だより」などのヒット曲で一世を風靡した。波乱に満ちた人生を、作家の大西功さんに寄稿していただいた。

運命的な出会い

平成5年(1993)の律は明るいが、とことなく初夏、私はアパニニューギニア郷愁を感じさせるものがあニアを訪れた。会社勤めを... 帰国後、この頃の原曲が、往年の人気歌手・上原敏の「上海だより」である。この旅の途中、セ...



サラリーマンから歌手に転じた上原敏

35歳の召集令状 ニューギニアで消息絶つ

上原敏(本名・松本力太)。治は、明治11年(1908)8月26日、秋田県大館市で誕生した。生家は、4企業家の「わかも製菓」に代つて、荒物雑貨商であ...



舞出演のポスター

彼を知る人すべてが 優れた人間性を称賛

「オース」の威勢のいい羨望を帯びておられた。しかし挨拶と、パタヤンの愛称も赤目気があり、ご気で知られる歌手・田端義夫さんの方で、教えられた。デビュー当時、上原敏の前座をつとめていた。彼「兄貴だったなあ」

専大野球部でリーグ優勝 控え選手ながら主将に



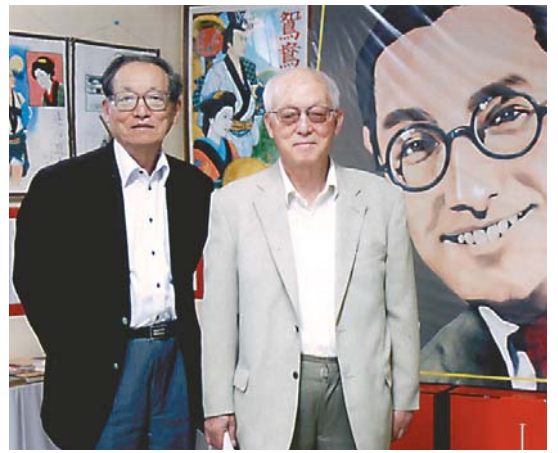
ニューギニアの戦場で戦友たちとともに(左端が上原敏)

戦する。4月末にリーグ付った「何となくも生懸近で目撃されたあと、彼の命だった」誠実で律儀で消息は不明のままである。義理がたかた「八柄の良さはきわだっていた」

立派な兄貴だった

前座つとめたパタヤン語る

「オース」の威勢のいい羨望を帯びておられた。しかし挨拶と、パタヤンの愛称も赤目気があり、ご気で知られる歌手・田端義夫さんの方で、教えられた。デビュー当時、上原敏の前座をつとめていた。彼「兄貴だったなあ」



右が筆者・大西功さん。上原敏の写真・資料が展示されている大館市大町しまうち製菓店で

大西 功(おおにし・いさお) 昭和10年(1935)大阪市生まれ。関西学院大経済学部を卒業、日立造船に入社。退職後、「この繁栄した故国を見ること、文筆活動を開始。織田作之助賞、自分史賞、執筆賞、さきがけ文学賞、自由都市文学賞、千葉文学賞、文春読者賞(共同執筆)を受賞。千葉県佐倉市に在住。

本学の中国語講師・三浦理一郎氏



「三浦文庫」オープンの式典で三浦正江さん(右から3人目)と土屋昌明教授(右端)=6月9日、上海・復旦大で

専門の文献学を通して中国と日本を結んだ専修大学の中国語の講師がいた。5年前、上海で客死した三浦理一郎氏だ。

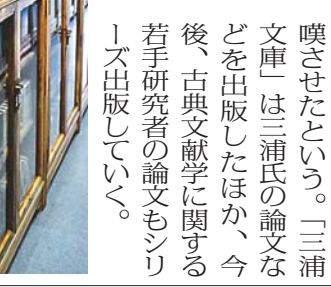


中国語の春期プログラム参加の学生たちと一緒に三浦理一郎氏(前列・左)=2006年、北京で

古典学を学び、1994年、復旦大学大学院に国費留学。卒業後は同大の古籍整理研究所に移り、現代の出版家・毛晋の研究で古典文献学の博士号を取得した。古典文学史

三浦氏は留学を終えて書店の店主...「泣き崩れる人もいた」(正江さん)。

復旦大(上海)に「三浦文庫」 母・正江さんが蔵書を寄贈



寄贈された蔵書の数々

その名を冠した三浦と共に同大に寄贈。同大文庫」のオープンを記念は基金を設立し、論文の。その名を冠した三浦と共に同大に寄贈。同大文庫」のオープンを記念は基金を設立し、論文の。

大学創立記念日(9月16日)特集

専修大学校歌、石巻専修大学校歌の作詞家 「高野辰之の生涯」

仙台で 12月開催



高野辰之

専修大学校歌、石巻専修大学校歌の作詞家。高野辰之の生涯を追う「石巻市」▽会場 東京エレクトロホール宮城(宮城県民会館) 仙台市郷の作詞家・高野辰之の葉国分町3の3の7生誕120年(2012)9月15日(土) 17時30分(午後10時)から展示